令和８年度 第１回 厚木市文化財保護審議会次第

日　時　令和８年６月 25 日（木）
午後１時 30 分から
場　所　アミューあつぎ６階
ルーム６０６

１　開　会

２　挨　拶

３　案　件

（１）令和７年度文化財保護事業結果について　　（資料１）

（２）令和８年度文化財保護事業計画について　　（資料２）

（３）市指定文化財の指定候補について　（資料３）（資料４）
（資料５－１～７）

４　その他

５　閉　会

令和７年度　文化財保護事業結果

１　文化財保護活動事業

事　　業　　名	内　　容
文化財保護審議会	○第１回会議 日　　程：R7/6/19(木) 審議事項：令和６年度文化財保護事業結果について　ほか３件 ○第２回会議 日　　程：R7/11/21(金) 審議事項：指定文化財の指定に係る答申について　ほか１件 ○第３回会議 日　　程：R8/3/19(木) 審議事項：指定文化財の指定について　ほか２件
文化財の一般公開	秋の文化財一般公開 ○日　　程：R7/11/29(土)～ 30(日) ○テーマ：小鮎の古刹をたずねて ○公開場所：本禅寺(飯山)、本照寺(下古沢) ○参加者数：350 人 文化財トーク ○日　　程：R7/11/29(土) ○講　　師：佐伯　英里子氏（厚木市文化財保護審議会委員） ○実施場所：本禅寺（井上五川天井絵） 本照寺（難波洞雪ねはん図） ○参加者数：70 人 春の文化財一般公開 ○日　　程：R8/3/29(日) ○テーマ：飯山金剛寺の文化財（木造阿弥陀如来坐像等） ○公開場所：金剛寺（飯山 5456） ○参加者数：507 人

２　補助金及び交付金の交付

事　　業　　名	内　　容
指定無形民俗文化財育成補助金	○交付先：７団体 相模人形芝居長谷座、相模人形芝居林座、 愛甲ささら踊り盆唄保存会、長谷ささら踊り盆唄保存会、厚木市古式消防保存会、法雲寺酒井双盤講、相模里神楽垣澤社中 ※伊勢十二座太神楽獅子舞保存会は辞退
指定文化財保存修理等補助金	○交付先：４団体 相模人形芝居長谷座（音源復旧） 相模里神楽垣澤社中（神楽面の修理） 荻野神社本殿・拝殿（シロアリ被害による修理） 聞修寺（山門修理）
市指定文化財保存管理奨励交付金	○交付先：20 団体 38 件
郷 土 芸 能 伝 承 補 助 金	○交付先：９件 厚木市太鼓保存連合会６団体、 あつぎひがし座、厚木王子高校人形浄瑠璃部 戸室手古舞保存会
郷土芸能振興支援事業交付金	○交付先：５団体８件 相模人形芝居長谷座（講師招聘、Ｔシャツ作成） 相模里神楽垣澤社中（講師招聘、会場使用料） あつぎひがし座（講師招聘、会場使用料） 相模国飯山白龍太鼓保存会（講師招聘） 浅間七沢太鼓保存会（太鼓修理、備品購入）

３　埋蔵文化財事業

事　　　業　　　名	内　　　容
埋蔵文化財事前確認調査	○個人住宅：27件 ○開発事業：48件 ○公共事業：9件　　合計84件
埋蔵文化財発掘調査	○民間開発事業：６件 愛甲御屋敷添遺跡第13地点、妻田中村遺跡第16地点、及川下向原遺跡、中依知下ノ原遺跡、金田東屋敷遺跡第２地点、恩名尼寺原遺跡第２地点 ○公共事業：６件 飯山界原遺跡、及川伊勢宮遺跡第３地点、及川棚畑遺跡第２地点、三田根岸遺跡第２地点、金田伊藤海道遺跡第２地点、三田林根遺跡第７地点 ○個人専用住宅：４件 飯山上久保遺跡、恩名仲町遺跡第19地点、林南遺跡第９地点、東町遺跡第13地点
埋蔵文化財出土遺物の整理	○発掘調査報告書の刊行 『厚木市埋蔵文化財調査報告書　第16集』 愛甲聖木遺跡、三田根岸遺跡、温水宮原遺跡第2地点、山際山ノ根原遺跡、三田宮ノ上遺跡、下古沢宮ヶ崎遺跡、愛名宮地遺跡第2地点 『厚木市埋蔵文化財調査報告書　第17集』 金田伊藤海道遺跡第２地点
遺　跡　講　演　会	○令和６年度に市内で実施された発掘調査の遺跡講演会 ○日　　程：R７/９/６(土) ○講　　師：公益財団法人かながわ考古学財団 株式会社玉川文化財研究所 有限会社吾妻考古学研究所 厚木市担当者 ○会　　場：厚木シティプラザサイエンスホール250 ○参加者数：120人

４　遺跡・史跡公園事業

事　　　業　　　名	内　　　容
山中陣屋跡史跡公園の維持管理	○所在地：厚木市下荻野字山中251ほか ○面　積：約3,300㎡
登山古墳史跡公園の維持管理	○所在地：厚木市飯山字西登山1616ほか ○面　積：約2,300㎡

５　郷土芸能事業

事　　業　　名	内　　容
郷 土 芸 能 普 及 公 演	○実施内容：相模人形芝居、相模里神楽、古式消防 ささら踊り盆唄保存会 ○実施時期：６月～３月 ○実施施設：市内幼稚園、保育園、小学校、高校、 短期大学、公民館 ○参加者数：1967 人
郷土芸能出前体験教室	○実施時期：５～１月 ○実施施設：市内小学校、大学 ○実施内容：相模人形芝居、太鼓 ○参加者数：152 人
郷　土　芸　能　学　校	○実施時期：７月～10 月　計８日(16 回) ○実施施設：市民交流プラザ ○実施内容：相模人形芝居の後継者育成 ○参加者数：69 人
第 23 回厚木市郷土芸能まつり	郷土芸能発表会 ○日　　程：R7/10/19(日) ○出演団体：相模里神楽など６団体、特別出演（三浦市海南神社面神楽保存神楽師会） ○会　　場：厚木市文化会館小ホール ○参加者数：375 人 相模人形芝居特別公演 ○日　　程：R7/11/15(土) ○出演団体：相模人形芝居長谷座、林座、 あつぎひがし座 ○会　　場：厚木市文化会館小ホール ○参加者数：304 人
第 47 回相模ささら踊り大会	相模ささら踊連合会（７団体）の自主事業 ○日　　程：R7/7/24(木) ○会　　場：藤沢市秩父宮記念体育館 ○参加者数：248 人
第 53 回記念相模人形芝居大会	相模人形芝居連合会（５団体）の自主事業 ○日　　程：R8/2/15(日) ○会　　場：南足柄市文化会館 ○参加者数：700 人
人形芝居ワークショップ	相模人形芝居長谷座による公演 ○日　　程：R7/9/21(日) ○会　　場：ミロード①４階　ミロにわ ○参加者数：230 人

資料２

令和８年度　文化財保護事業計画

１　文化財保護活動事業

事　　業　　名	内　　容
文化財保護審議会	文化財保護審議会の開催（年３回）
文化財の一般公開	実施予定　Ｒ８/10/30(金)・31(日) 公開場所　建徳寺・蓮生寺

２　補助金及び交付金の交付

事　　業　　名	内　　容
指定無形民俗文化財育成補助金	○交付先：７団体 相模人形芝居長谷座、相模人形芝居林座、愛甲ささら踊り盆唄保存会、長谷ささら踊り盆唄保存会、厚木市古式消防保存会、法雲寺酒井双盤講、相模里神楽垣澤社中 ※伊勢十二座太神楽獅子舞保存会は辞退
指定文化財保存修理等補助金	○交付先：１件 相模人形芝居長谷座（道具の修理）
市指定文化財保存管理奨励交付金	○交付先：20 団体 38 件
郷土芸能伝承補助金	○交付先：10 件 厚木市太鼓保存連合会７団体、 あつぎひがし座、 厚木王子高等学校人形浄瑠璃部 戸室手古舞保存会
郷土芸能振興支援事業交付金	○交付先：４団体８件 相模人形芝居長谷座 （講師招聘・備品修理） 相模里神楽垣澤社中 （講師招聘・会場使用料・大蛇面新調） 相模国飯山白龍太鼓保存会（講師招聘） あつぎひがし座（講師招聘・会場使用料）

３　埋蔵文化財事業

事　　業　　名	内　　容
埋蔵文化財事前確認調査	○開発行為及び公共事業における事前確認調査
埋蔵文化財発掘調査	○個人専用住宅建設等に伴う本格調査
埋蔵文化財出土遺物の整理	○発掘調査により出土した遺物の整理等

４　遺跡・史跡公園施設維持管理事業

事　　業　　名	内　　容
山中陣屋跡史跡公園の維持管理	○所在地：厚木市下荻野字山中 251 ほか ○面　積：約 3,300 ㎡
登山古墳史跡公園の維持管理	○所在地：厚木市飯山字西登山 1616 ほか ○面　積：約 2,300 ㎡

５　郷土芸能事業

事　　業　　名	内　　容
郷土芸能普及公演	市内保育所、幼稚園、小･中学校、高校、大学、公民館を対象施設として、鑑賞の機会を提供。 ○実施内容：相模人形芝居、相模里神楽、 相模のささら踊り、古式消防 ※伊勢十二座太神楽獅子舞は辞退 ○実施時期：６～３月
人形芝居ワークショップ	あつぎひがし座による人形浄瑠璃の公演 ○日　　程：R8/8/23(日) ○会　　場：ミロード①４階ミロにわ
第24回厚木市郷土芸能まつり	郷土芸能発表会 ○日　　程：R８/10/18(日) ○出演団体：愛甲ささら踊り盆歌保存会、 長谷ささら踊り盆歌保存会、 相模里神楽垣澤社中、 厚木市古式消防保存会、 酒井法雲寺双盤講、 厚木市太鼓保存連合会（１団体） ○会　　場：厚木市文化会館小ホール 相模人形芝居特別講演 ○日　　程：R８/11/15(日) ○出演団体：相模人形芝居長谷座、林座、 あつぎひがし座 ○会　　場: 厚木市文化会館小ホール
第48回相模ささら踊り大会	相模ささら踊連合会（県内７団体）の自主事業 ○日程：R８/７/８(水) ○会場：綾瀬市民スポーツセンター
第54回相模人形芝居大会	相模人形芝居連合会（５団体）の自主事業 ○日程：R９/２/14(日) ○会場：厚木市文化会館大ホール

指定文化財候補一覧

指定区分	種　別	現在の指定件数		指定文化財候補	時代	備　考
有形文化財	絵画 彫刻 工芸品	絵画 4件	1	中荻野戒善寺 難波洞雪筆仏涅槃図	江戸時代中期	安永2年(1773)。下荻野出身の絵師。藤原美明と号す。師は狩野美信。262m×237m
			2	歌川国経筆美人図	江戸時代後期	享和(1801～1804)頃。紙本肉筆画。上荻野齋藤家出身の絵師。歌川豊国門人。落款なし。129.0×56.5cm
			3	歌川国経筆大黒天図	江戸時代後期	享和4年(1804)。上荻野齋藤家出身の絵師。歌川豊国門人。伊勢原市比比多神社絵馬は県指定。126×54cm
			4	岡本秋暉筆老松三鶴図	江戸時代末期	安政6年(1859)。紙本墨画淡彩。小田原藩絵師。大西圭斎門人。169.0×68.0cm
			5	岡本秋暉筆孔雀図	江戸時代末期	絹本著色。小田原藩絵師。大西圭斎門人。117.0×49.5cm
		彫刻 13件	1	金田建徳寺 木造地蔵菩薩立像	南北朝時代	寄木造。玉眼。白毫水晶。像高96.4cm
			2	金田建徳寺 木造大興禅師坐像	南北朝時代ないし室町初期	建徳寺開山大興禅師(葦航道然)の頂相彫刻。寄木造。玉眼。像高51.0cm
			3	寿町長福寺 木造阿弥陀如来坐像	南北朝時代末～室町時代	南北朝時代末～室町時代。寄木造。玉眼。像高52.0cm。
			4	関口大信寺 木造善導･円光大師座像	室町時代末～安土桃山時代	脚部裏銘により天文14年(1545)造立。寄木造。玉眼。像高29.2cm･29.0cm
			5	岡田法徳寺 木造聖徳太子立像	室町時代末～安土桃山時代	台座裏銘「釈教信(当寺開山、永正元年･1504没)所持」。寄木造。玉眼。像高79.0cm
			6	三田清源院 木造薬師如来坐像	安土桃山時代	天正8年(1580)　玉運浄玄造立。寄木造。玉眼。像高21.5cm
			7	長谷福昌寺 木造閻魔王坐像	安土桃山時代	天正年間。寄木造。玉眼。元長谷観音堂所在。像高94.8cm
			8	七沢観音寺 勢至菩薩	江戸時代前期	元禄2年(1689)頃。旧禅法寺本尊。胎内に尾張中納言家奉納品収納。像高305.5cm
			9	船子観音寺 木造観音菩薩立像	平安時代後期	平安時代後期。寄木造。玉眼。像高162.5cm
			10	中依知蓮生寺 木造小幡勘兵衛景憲像	江戸時代前期	寛文元年(1661)作製、宝暦13年(1763)再興。小幡景憲90歳の寿像。頭部のみ現存する。像高30.0cm
			11	戸田福蔵院 木造阿弥陀如来坐像	鎌倉時代後期	鎌倉時代後期。寄木造。玉眼。像高54.2cm

指定区分	種　別	現在の指定件数		指定文化財候補	時代	備　考
有形文化財	絵画 彫刻 工芸品	彫刻 13件	12	岡田長徳寺 木造聖徳太子立像	南北朝時代末期	14世紀末。寄木造。像高113.0cm
			13	下荻野 子合地蔵尊保存会 木造地蔵菩薩坐像	室町時代	一木造。彩色。坐高18.3cm。総高38.0cm。
		工芸品 9件	1	林大坂上の懸仏	江戸時代前期	寛永9年（1632）。製作者は荻野鋳物師の木村吉次。林地区大坂上の庚申塔石祠内に安置されていた。銅製。直径25.2cm。
			2	早乙女家貞作鍔	安土桃山時代	安土桃山時代。雨龍図。銘「相州小田原住早乙女家貞」北条氏政の甲冑師。購入資料。9.0×8.3cm
	建造物	15件	1	愛甲円光寺宝篋印塔	鎌倉時代	建久3年(1192)銘。建久の年号は後年の改竄で、嘉元3年（1305）頃と推定される。愛甲三郎季隆の墓碑伝承がある。
			2	愛甲宝積寺五輪塔	鎌倉時代末～南北朝時代	鎌倉時代末～南北朝時代。2基あり、1基は火輪を欠き、近世の石塔を転用される。愛甲三郎季隆の墓碑伝承がある。
			3	金田キフネ社五輪塔	鎌倉時代	鎌倉期の造立。鎌倉石（凝灰岩）製。「キフネサマ」と呼ばれ、安産の信仰がある。総高129.5cm。
	考古資料	7件	1	ホウダイヤマ1号墳出土遺物	古墳時代前期	古墳時代前期。ホウダイヤマ1号墳（前方後円墳）の周溝内出土。壷形土器・坩・器台等。
			2	小野公所遺跡第3地点1号墳出土遺物	古墳時代後期	6世紀末。鉄刀5点、鉄鏃3点、馬具(轡・辻金具)3点ほか。
			3	飯山白山山頂出土資料一括	平安時代後期	平安時代後期。常滑三筋壷2点・和鏡3点。
			4	七沢観音寺出土経塚資料一括	鎌倉時代	12世紀末～13世紀初頭。常滑三筋壷1点・白磁小皿1点・檜扇ほか。
	歴史資料	1件	1	林福伝寺の板碑	鎌倉時代	弘安4年(1281)銘。市内最古の記年銘板碑。「相模守平時頼」の後刻がある。現存部高91.5cm、幅44.2cm。
			2	徳川家康関係資料	江戸時代	元和元年(1622)。茶臼・東照宮棟札。文政～天保期文書。
有形文化財	書籍・典籍	なし	1			
	古文書	古文書 3件	1	豊臣秀吉禁制（長徳寺宛て）	安土桃山時代	天正18年(1590)5月。上落合長徳寺所蔵。
			2	豊臣秀吉禁制（厚木宛て）	安土桃山時代	天正18年(1590)4月。「相模国大中郡あつぎ」宛て。個人蔵。
			3	大中郡上落合郷検地目録	安土桃山時代	天正20年(1592)3月。徳川氏の代官頭彦坂小刑部元正による検地目録。個人蔵。

指定区分	種　別	現在の指定件数		指定文化財候補	時代	備　考
			4	山中藩陣屋用地絵図	江戸時代中期～後期	天明3年(1783)8月ほか。
有形文化財	古文書	古文書3件	5	相州大中郡三田郷検地帳	安土桃山時代	天正19年(1591)5月。
			6	相州大中郡温水郷検地帳	安土桃山時代	天正19年(1591)8月。
			7	相州大中郡恩名郷検地帳	安土桃山時代	文禄3年(1594)3月。
			8	三田村・下川入村境界論争争論幕府裁許絵図	江戸時代前期	寛文4年(1664)。
			9	松石寺境内及び上荻野村など九か村争論裁許絵図	江戸時代前期	貞享元年(1684)。
無形文化財	芸能	なし				
	工芸技術	なし				
民俗文化財	有形民俗文化財	なし	1	七沢石の石工関連資料	明治～昭和期	七沢石の採掘加工道具類。
			2	堰神社所蔵白尉・黒尉面及び鈴	江戸時代	長谷座の人形芝居と淡路の人形との関係を示す資料として伝来。
			3	芝居衣装、面、道具	江戸時代後期～昭和期	愛甲萩原家所蔵資料。萩原家は芝居・神楽の衣装貸し及び元締め。
			4	地芝居衣装、台本、道具	明治～昭和期	明治時代～昭和30年代。上荻野弥よい劇団寄贈資料。
民俗文化財	無形民俗文化財	8件	1	妙傳寺のホーロク灸	江戸時代末～	江戸時代末に始まり、明治期に広まった。7月の土用丑の日に行われ、ムシ除け、ボケ防止、病気治癒、腰痛治癒、健康回復の御利益があるとされる。
記念物	史跡	4件	1	七沢石丁場跡	江戸時代前期～昭和期	七沢の山中から産出し、各地に流通した七沢石の採掘場跡。
			2	小幡氏累代の墓	江戸時代	武田家の遺臣で、江戸幕府旗本小幡氏代々の墓。宝篋印塔等7基。中依知蓮生寺所在。
			3	山角氏累代の墓	江戸時代	北条氏の遺臣で、江戸幕府旗本山角氏代々の墓。酒井法雲寺所在。
			4	愛甲大塚古墳	古墳時代前期	伊勢原市との市境に所在する前方後円墳で、後円部が厚木市。前方部は削平により消滅。主体部は未調査。
			5	吾妻坂古墳	古墳時代中期	下依知所在。道路拡幅工事による発掘調査で銅鏡、鉄剣等が出土。墳形は不明であるが、円墳と推定される。

指定文化財候補一覧

指定区分	種　別	現在の指定件数		指定文化財候補	時代	備　考
記念物	名勝	なし				
	天然記念物	9件	1	関口510番地付近のカゴノキ		市内唯一の雌株のカゴノキ。
			2	岡田三島神社のエノキ		樹高約25m、目通り周約3.6m。三島神社の神木。
			3	下川入のマツ		あつぎ郷土博物館敷地内。戦時中に松根油を採取した痕がある。

【厚木市所在 指定文化財】

１　有形文化財

（１）絵画　　５件　　国：0件、県：0件、市：5件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	絵画第1号	市指定有形文化財	紙本著色　仏涅槃図（井上五川筆）	養徳寺	下川入1366-4	平成30年12月18日
2	絵画第2号	市指定有形文化財	絹本著色 釈迦三尊十八羅漢図（島崎旦良筆）	養徳寺	下川入1366-4	平成30年12月18日
3	絵画第3号	市指定有形文化財	絹本著色 徳川家康像（東照宮御画像）	個人	下川入1366-4	令和4年2月12日
4	絵画第4号	市指定有形文化財	絹本著色弁財天十五童子像	妙傳寺	上依知2397	令和5年2月24日
5	絵画第5号	市指定有形文化財	紙本著色　仏涅槃図（狩野惟信筆）	蓮生寺	中依知679	令和8年3月10日

（２）彫刻　　１３件　　国：1件、県：2件、市：10件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	国彫第3113号	国指定重要文化財	木造　阿弥陀如来坐像	金剛寺	飯山5456	昭和36年6月30日
2	県	県指定重要文化財	木造　地蔵菩薩坐像	金剛寺	飯山5456	昭和33年6月17日
3	県彫第69号	県指定重要文化財	木造　不動明王立像	法雲寺	酒井2471	平成3年2月8日
4	彫刻第3号	市指定有形文化財	木造　薬師如来坐像	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
5	彫刻第3号	市指定有形文化財	木造　日光菩薩立像	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
6	彫刻第3号	市指定有形文化財	木造　月光菩薩立像	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
7	彫刻第3号	市指定有形文化財	木造　薬師如来立像	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
8	彫刻第3号	市指定有形文化財	木造　十二神将立像	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
9	彫刻第4号	市指定有形文化財	木造　釈迦如来立像	妙傳寺	上依知2397	昭和47年11月18日
10	彫刻第5号	市指定有形文化財	木造　毘沙門天(多聞天)立像	妙傳寺	上依知2397	昭和47年11月18日
11	彫刻第5号	市指定有形文化財	木造　持国天立像	妙傳寺	上依知2397	昭和47年11月18日
12	彫刻第6号	市指定有形文化財	木造　菩薩立像　2躯	延命寺	戸田1099	平成13年11月16日
13	彫刻第7号	市指定有形文化財	木造　阿弥陀如来立像	長徳寺	上落合669	平成29年1月24日

（３）工芸品　　９件　　県：3件、市：6件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	県	県指定重要文化財	鰐　口	本照寺	下古沢130	昭和44年12月2日
2	県	県指定重要文化財	銅　鐘	長谷寺	飯山5605	平成2年2月13日
3	県	県指定重要文化財	銅　鐘	浅間神社	中依知488	昭和44年12月2日
4	工芸品第2号	市指定有形文化財	銅　鐘	遍照院	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
5	工芸品第3号	市指定有形文化財	銅　鐘	飯出神社	酒井2142	昭和49年4月9日

6	工芸品第4号	市指定有形文化財	銅製品（布薩形水瓶１口）	金剛寺	飯山5456	平成23年6月15日
7	工芸品第5号	市指定有形文化財	銅製品(信貴山形水瓶１口)	金剛寺	飯山5456	平成23年6月15日
8	工芸品第6号	市指定有形文化財	銅製品(錫杖頭１口)	金剛寺	飯山5456	平成23年6月15日
9	工芸品第7号	市指定有形文化財	銅製品(銅鋺３口)	金剛寺	飯山5456	平成23年6月15日

（４）建造物　　　１５件　　　県：2件、市：13件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	県建築第41号	県指定重要文化財	本　堂	本禅寺	飯山3515	平成7年2月14日
2	県建築第50号	県指定重要文化財	荻野神社本殿・拝殿	荻野神社	上荻野１－イ	平成26年3月28日
3	建造物第1号	市指定有形文化財	観音堂	長谷寺	飯山5605	昭和37年4月20日
4	建造物第2号	市指定有形文化財	薬師堂	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
5	建造物第3号	市指定有形文化財	厨　子	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和47年4月12日
6	建造物第4号	市指定有形文化財	釈迦堂	妙傳寺	上依知2397	昭和47年11月18日
7	建造物第5号	市指定有形文化財	二天門	妙傳寺	上依知2397	昭和47年11月18日
8	建造物第6号	市指定有形文化財	石灯籠	春日神社	温水736	昭和48年7月18日
9	建造物第7号	市指定有形文化財	石造物28基	建徳寺	金田262	昭和54年2月7日
10	建造物第8号	市指定有形文化財	下川入諏訪神社本殿	諏訪神社	下川入298	平成6年12月5日
11	建造物第10号	市指定有形文化財	三田八幡神社本殿	八幡神社	三田2723	平成8年4月26日
12	建造物第11号	市指定有形文化財	聞修寺山門	聞修寺	小野1221	平成9年5月8日
13	建造物第12号	市指定有形文化財	旧岸家住宅	厚木市	上荻野792－2	平成11年7月22日
14	建造物第13号	市指定有形文化財	石灯籠（康暦2年）	熊野神社	愛甲2-20-8	平成19年9月1日
15	建造物第14号	市指定有形文化財	須弥壇	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	平成25年9月20日

（５）古文書　　　３件　　　市：3件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	古文書第1号	市指定有形文化財	中世文書２葉	個人	－	昭和44年8月20日
2	古文書第2号	市指定有形文化財	足利義満安堵状	個人	－	平成25年9月20日
3	古文書第3号	市指定有形文化財	徳川家康朱印状	八幡神社	下川入1366-4	令和4年2月12日

（６）考古資料　　７件　　　県：1件、市：6件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	県	県指定重要文化財	厚木市登山1号墳出土埴輪	厚木市	下川入1366-4	平成4年2月14日
2	考古資料第1号	市指定有形文化財	土師器	厚木市	下川入1366-4	昭和36年10月21日
3	考古資料第2号	市指定有形文化財	子ノ神遺跡出土家形土器	厚木市	下川入1366-4	平成21年2月13日
4	考古資料第3号	市指定有形文化財	林王子遺跡出土有孔鍔付土器	厚木市	下川入1366-4	平成21年2月13日
5	考古資料第4号	市指定有形文化財	恩名沖原遺跡出土浅鉢	厚木市	下川入1366-4	平成25年9月20日
6	考古資料第5号	市指定有形文化財	宮の里遺跡出土土器	厚木市	下川入1366-4	平成29年1月24日
7	考古資料第6号	市指定有形文化財	愛名宮地遺跡出土瓦塔	厚木市	下川入1366-4	平成30年12月18日

（７）歴史資料　　１件　　　市：1件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	歴史資料第1号	市指定有形文化財	北条家制札	個人	下川入1366-4	平成25年9月20日

２　民俗芸能　　８件　　　国：2件、県：2件、市：4件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	国	国指定重要無形民俗文化財	相模人形芝居　林座	相模人形芝居林座	林	昭和55年1月28日
2	国	国指定重要無形民俗文化財	相模人形芝居　長谷座	相模人形芝居長谷座	長谷	昭和55年1月28日
3	県	県指定無形民俗文化財	相模のささら踊り	愛甲ささら踊り盆唄保存会	愛甲	平成20年2月5日
4	県	県指定無形民俗文化財	相模のささら踊り	長谷ささら踊り盆唄保存会	長谷	平成20年2月5日
5	無形民俗芸能第3号	市指定無形民俗文化財	伊勢十二座大神楽獅子舞	伊勢十二座大神楽獅子舞保存会	旭町	昭和55年9月12日
6	無形民俗芸能第5号	市指定無形民俗文化財	古式消防(木遣唄･まとい振り･梯子乗り)	厚木市古式消防保存会		昭和46年7月1日
7	無形民俗芸能第6号	市指定無形民俗文化財	相模里神楽	相模里神楽垣澤社中	酒井	昭和46年7月1日
8	無形民俗芸能第7号	市指定無形民俗文化財	双盤念仏	法雲寺酒井双盤講	酒井	平成6年12月5日

３　史跡、名勝、天然記念物

（１）史跡　　４件　　　市：4件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	史跡第1号	市指定史跡	旧厚木村渡船場跡	厚木市	東町８	昭和36年10月21日
2	史跡第2号	市指定史跡	荻野山中藩陣屋跡	厚木市	下荻野251外	昭和45年7月15日
3	史跡第3号	市指定史跡	烏山藩厚木役所跡	厚木市	厚木町６	昭和52年7月1日
4	史跡第4号	市指定史跡	本間氏累代の墓	建徳寺	金田262	昭和54年2月7日

（２）天然記念物　　９件　　県：2件、市：7件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	県	県指定天然記念物	妻田の楠	妻田薬師保存会（遍照院）	妻田西3-17-32	昭和29年3月30日
2	県	県指定天然記念物	松石寺の寺林	松石寺	上荻野字真弓4227-1外	平成3年2月8日
3	天然記念物第1号	市指定天然記念物	カシワ	個人	－	昭和41年8月17日
4	天然記念物第2号	市指定天然記念物	イヌマキ	長谷寺	飯山5605	昭和41年8月17日
5	天然記念物第3号	市指定天然記念物	イチョウ（２本）	依知神社	上依知１	昭和43年11月30日
6	天然記念物第4号	市指定天然記念物	イチョウ	熊野神社	旭町３-14	昭和52年4月13日
7	天然記念物第5号	市指定天然記念物	イチョウ	荻野神社	上荻野１－イ	昭和63年9月26日
8	天然記念物第6号	市指定天然記念物	カゴノキ	林神社	林３-７-１	平成23年6月15日
9	天然記念物第7号	市指定天然記念物	ムクロジ（無患子）	皇大神社	棚沢118-2	令和4年2月12日

【厚木市所在 登録文化財】

１　有形文化財

（１）建造物　　３件　　国：3件

No.	号数等	指定区分	名称	管理・所有者	所在	指定年月日
1	国登録番号第14－0198号	有形文化財(建造物)	小島家住宅　主屋	個人	飯山4496	平成27年11月17日
2	国登録番号第14－0199号	有形文化財(建造物)	小島家住宅　蔵	個人	飯山4496	平成27年11月17日
3	国登録番号第14－0200号	有形文化財(建造物)	小島家住宅　門	個人	飯山4496	平成27年11月17日

指定候補文化財調書

１　名称及び員数　豊臣秀吉禁制　１通
２　文化財の種類　有形文化財(古文書)
３　所　　在　　地　厚木市上落合６６９番地
４　所有者の所在地及び名称　厚木市上落合６６９番地
宗教法人長徳寺　代表役員　内藤 祥世
５　構 造 ・ 法 量　　紙本墨書　折紙　縦４６センチメートル
横６５センチメートル
６　所　　　　見

本資料は、上落合の長徳寺に伝わる豊臣秀吉の朱印状であり、天正１８年（１５９０）５月に「相模国大中郡内落合郷長徳寺」宛てに発給した禁制文書である。

長徳寺は寛喜２年（１２３０）に浄土真宗に改宗したと伝えられ、古くは真言宗の寺院であったという。浄土真宗の古跡、相模６か寺の一つであり、かつては相模・武蔵両国内に１１か寺の末寺があったと記されている資料が残る（『厚木市史』近世資料編（1）社寺　資料6）。なお、本資料については『新編相模国風土記稿』において言及されている。

文意は秀吉が配下の軍勢に対し、兵士による住民への乱暴や狼藉、放火、長徳寺や周辺住民への不当な行いを固く禁止し、もしも、これに違反する者がいたら、直ちに厳罰に処すというものであり、文末の天正１８年５月の年紀の下に秀吉の朱印が押される。

『国史大辞典』「印章」の項によれば、当該の朱印は縦・横ともに約３.７㎝であるが、本史料に据えられた朱印も同じ長さである。また印影も『花押・印章図典』(吉川弘文館編集部、２０１８）に掲載されているものと、かすれを除けば同一である。つまり当該史料の朱印は豊臣秀吉朱印と考えて矛盾はない。

厚木市域において豊臣秀吉が発給した禁制は、これまでに６点が確認されているが、現在市内に所在するのは、本資料及び東町の溝呂木家所蔵資料の２点のみである。

天正１８年５月の時点で、豊臣秀吉は小田原城の北条氏を攻略中であり、既に厚木地域においても秀吉軍の勢力が及んでいたことが推定される。長徳寺は秀吉から禁制の発給を受け、秀吉軍の乱暴や略奪から逃れ、安全を保障してもらったものと考えられる。

本資料は、市内に残る豊臣秀吉禁制の原本であり、長徳寺宛てに発給されたものとして、地域の歴史を考える上で価値が高く、極めて貴重な資料

であると思われる。

【参考文献】

厚木市 1989『厚木市史』中世資料編
厚木市 1986『厚木市史』近世資料編（１）社寺
吉川弘文館編集部編 2018『花押・印章図典』

相摸國大中郡内落合郷
長徳寺

禁制

一　軍勢甲乙人等　濫妨狼藉事

一　放火事

一　對寺家門前之族　非分之儀申懸事

右條々　堅令停止訖　若於違犯之
輩者　忽可被處厳科者也

天正十八年五月　日〇（秀吉朱印）

資料５－２

指定候補文化財調書

１　名称及び員数　豊臣秀吉禁制　１通
２　文化財の種類　有形文化財(古文書)
３　所　　在　　地　厚木市下川入１３６６－４　あつぎ郷土博物館（寄託）
４　所有者の所在地及び名称　○○○○
５　構 造 ・ 法 量　　紙本墨書　折紙　縦４７センチメートル
横６５センチメートル
６　所　　　　見

本資料は、東町の溝呂木家に伝わる豊臣秀吉の朱印状であり、天正１８年（１５９０）４月に「相模国大中郡あつぎ」宛てに発給された禁制文書である。現在はあつぎ郷土博物館に寄託されている。

文意は秀吉が配下の軍勢に対し、兵士による住民への乱暴や狼藉、放火、住民への不当な行いを固く禁止し、もしも、これに違反する者がいたら、直ちに厳罰に処すというものであり、文末の天正１８年４月の年紀の下に秀吉の朱印が押される。

『国史大辞典』「印章」の項によれば、当該の朱印は縦・横ともに約３.７㎝であるが、本史料に据えられた朱印も同じ長さである。また印影も『花押・印章図典』(吉川弘文館編集部、２０１８）に掲載されているものと、かすれを除けば同一である。つまり当該史料の朱印は豊臣秀吉朱印と考えて矛盾はない。

厚木市域において豊臣秀吉が発給した禁制は、これまでに６点が確認されているが、現在市内に所在するのは、本資料及び上落合長徳寺所蔵の２点のみである。

天正１８年４月の時点で、豊臣秀吉は小田原城の北条氏を攻略中であり、既に厚木地域においても秀吉軍の勢力が及んでいたことが推定される。厚木地域の人々は禁制の発給を受け、秀吉軍の乱暴や略奪から逃れ、安全を保障してもらったものと考えられる。

本資料は、市内に残る豊臣秀吉禁制の原本であり、厚木宛てに発給されたものとして、地域の歴史を考える上で価値が高く、極めて貴重な資料であると思われる。

【参考文献】

厚木市 1989『厚木市史』中世資料編
吉川弘文館編集部編 2018『花押・印章図典』

資料５－２

相摸國大中郡
あつぎ

禁制

一　軍勢甲乙人等　乱妨狼藉事

一　放火事

一　對地下人百姓　非分之儀申懸事

右条々　堅令停止訖　若於違犯之
輩者　忽可被處厳科者也

天正十八年四月　日〇(秀吉朱印)

資料５－３

指定候補文化財調書

１　名称及び員数　福伝寺の弘安銘板碑　１基
２　文化財の種類　有形文化財（歴史資料）
３　所　　在　　地　厚木市王子１－１１－４０
４　所有者の所在地及び名称　宗教法人福伝寺
５　構 造 ・ 法 量　緑泥片岩製　高さ９１．５センチメートル（残存部）
　　　　　　　　　　　　　　　　６７．５センチメートル（現況露出部分）
　　　　　　　　　　　　　　幅　４４．２センチメートル
　　　　　　　　　　　　　　厚さ　４．０センチメートル
６　所　　　　見

本資料は、王子地区の福伝寺に伝わる板碑である。現状では福伝寺境内に立てられているため、下部については観察することはできないが、幅４４．２センチメートルは市内最大の規模である。

福伝寺は山梨県都留市の曹洞宗長生寺の末寺で、開山は長生寺１１世白鳳宗淑（寛永１４年（１６３７）没）であるが、古くは王子権現社（王子神社）の別当であった真言宗善福寺の跡地に建てられたと伝わる。

板碑は鎌倉時代から室町時代前期にかけて多く造立された死者の供養のために造立された石製の塔婆であり、厚木市周辺では、主に秩父（埼玉県）産の緑泥片岩を用いて造られる。形状は頂部を山形とし、その下に二条の切り込みと額部を作り、身部には主尊を仏像または梵字の種字で表す。その下部には願主名、年紀、供養の内容などの文字が刻まれる。

本資料は古くから存在が知られており、渡辺崋山の『游相日記』や『新編相模国風土記稿』においても取り上げられている。元来は福伝寺の北西約１００メートルに位置する王子権現社に所在していたものが、明治初年の神仏分離に際し、福伝寺に移されたものと考えられる。

秩父産の緑泥片岩を石材として製作されており、厚木市内に普遍的に分布するいわゆる武蔵型の板碑である。頂上部が４分の１ほど斜めに欠けているため全容は明らかではないが、残欠からは、阿弥陀如来の来迎図及び円輪で囲んだ六地蔵を表す種子が描かれていることが分かる。その下部には、一部が欠損するが、浄土三部経の１つである観無量寿経の偈である「光明遍照十方世界　念仏衆生　摂取不捨」の４行が記されていたとみられる。また、その下部には、造立意図及び弘安４年（１２８１）の紀年銘が記されている。本資料は「過去慈父聖霊往生極楽頓証菩提」とあるように、「慈父」の極楽往生を目的として造立されたものであるが、造立者である子が誰を示すのかは、記銘がないため不明である。

なお、本資料において注意すべき点としては、文末に刻まれている「相模守平時頼」の銘が挙げられる。「相模守平時頼」は、鎌倉幕府第５代執権の北条時頼（１２２７～１２６３）を示すものである。弘安４年が時頼の没後１８年に当たり、年代的に齟齬があるとともに、明らかに書体も他の銘文と異なることから後刻として取り扱う必要があるが、板碑自体の制作年代を弘安年間とするのは妥当なものであると考えられる。

以上のことから、本資料は市内における最古かつ最大規模の貴重な板碑例であり、地域の歴史に対する理解を深める上で、極めて重要な文化財であると考えられる。

なお、板碑の残欠部分については、昭和４０年代までは存在が確認されていたが、現在、所在が明らかでないため、所有者に所在の確認を依頼中である。

※参考

≪新編相模国風土記稿≫

王子権現社　社地に弘安古碑と称するものあり

弘安四年辛巳三月日、相模守平時頼と刻す、今年は時頼卒後十八年に当れり、是も後人の贋造なり

≪游相日記≫

坂東　之一林村。有相模入道時頼之碑

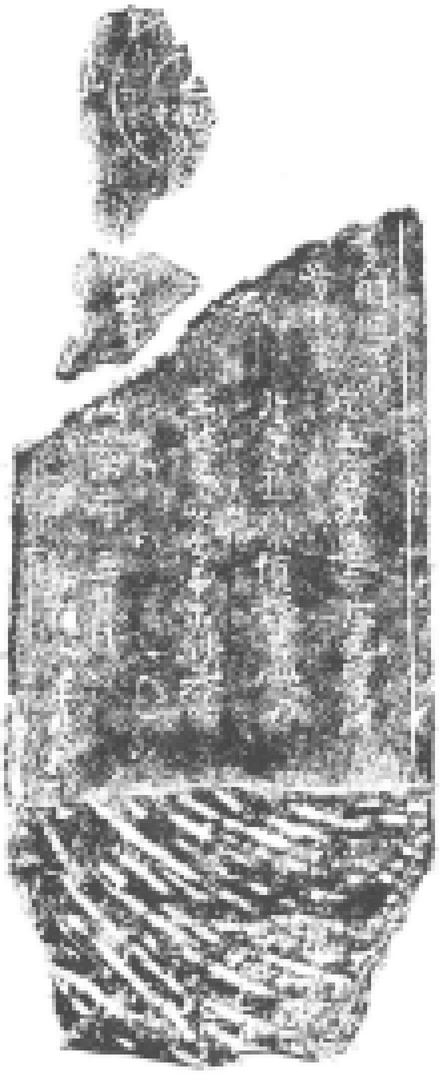
【参考文献】

蘆田伊人校訂　1970『新編相模国風土記稿』

厚木市　1989『厚木市史　中世資料編』

　　　　1999『厚木市史　中世通史編』

厚木市教育委員会　1986『游相日記』



【銘文】

光明遍照
十万世界
念仏衆生
摂取不捨

右志者為過去慈父聖霊
往生極楽頓證菩提乃
至法界衆生平等利益
弘安四年辛巳三月日
「相摸守平時頼」（後刻）

有形民俗文化財　七沢の石工用具

七沢で産出する凝灰岩「七沢石（ナラサワイシ)」の採石や加工に使用された道具。丁場で使用した「採石用具」、加工に使用した「加工用具」、道具の手入れに使用した「鍛冶用具」などがあり、石の採集から製品の完成に至るまで、一連の工程を示す資料がある。

これらの資料は七沢の石工等からの寄贈資料として、あつぎ郷土博物館に収蔵されている。

工芸品　林大坂上の懸仏

庚申供養
相州愛甲郡林村毛利荘林之郷
猿
佐次右門　助右門
願主
阿弥陀如来
仁右門　角兵衛
猿
大工
荻野村木村吉次
于時寛永九壬申天正月吉日

林地区大坂上の庚申塔石祠内に収納されていた銅製の懸仏。阿弥陀如来と二猿が陽刻される。林郷の４名（佐次右門、助右門、仁右門、角兵衛）を願主とし、寛永９年(1632)に荻野鋳物師の木村吉次が製作したもの。本資料は石祠の廃絶に伴い、厚木市が寄贈を受け、保管している。

資料５－６

彫刻　金田建徳寺木造地蔵菩薩立像

金田建徳寺所蔵の木造地蔵菩薩立像で、左手に宝珠、右手に錫杖を持つ一般的な形式の地蔵立像である。寄木造で玉眼嵌入、白毫水晶。表面には彩色が施される。

建徳寺は臨済宗建長寺派の寺院で、葦航道燃（大興禅師）開山とされる。本像の制作時期は 14 世紀、南北朝時代頃と考えられる。

像高 96.4 センチメートル。

資料５－７

彫刻　金田建徳寺木造大興禅師坐像

金田建徳寺開に開山大興禅師（葦航道然）の頂相彫刻として伝わる。曲碌に趺座し、膝上で払子を執る頂相彫刻によくみられる姿で、沓を伴う。寄木造で玉眼嵌入。

建徳寺は臨済宗建長寺派の寺院で、葦航道燃（大興禅師）開山とされる。葦航道然は蘭渓道隆の高弟として知られ、建長寺や円覚寺の住持となり、大興禅師と勅諡される。

像高 51.0 センチメートル